



進行基準サポーター

既存の会計システムなどの外部連携により早期に新会計基準に対応

国際会計基準の要請する

「工事進行基準」に対応した

『収益管理ソリューション』

- 其一、正確なプロジェクト原価の算出ができる
- 其二、原価比例法による合理的な収益計上ができる
- 其三、工事損失引当金の計算ができる
- 其の四、各プロジェクトを集計した、部門別の収益管理ができる

原価比例法の進捗基準に対応

内部統制(J-SOX) IT基準に対応

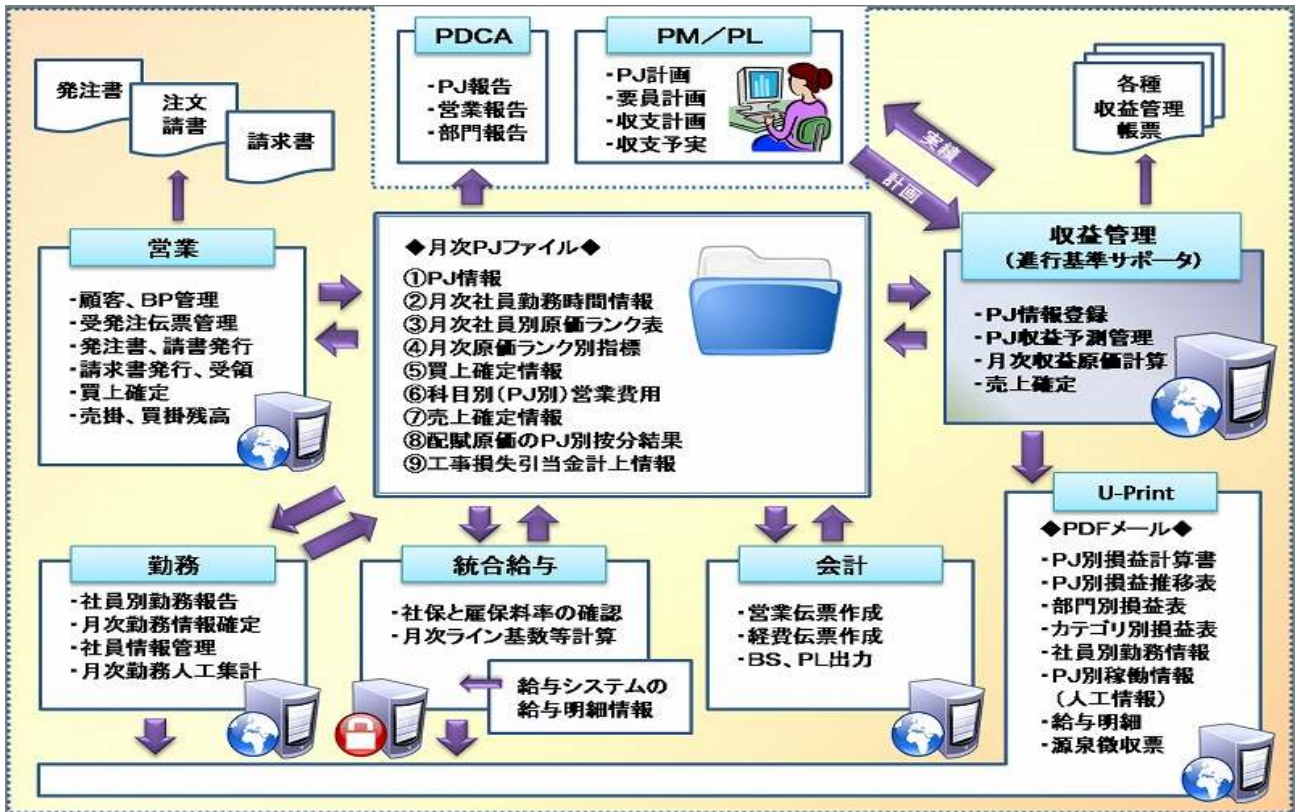
既存システムとの組み合わせも想定した外部連携インターフェース

お客様ルールに柔軟に変更可能なシステム

SUCCESS

対集年月	200908	200909	200910	200911	200912	201001	201002	201003
【計画】売上高	5,320	6,660	7,170	7,930	12,923	830		
【実績】売上高	7,321	4,093	4,474	5,030	5,565	2,568		
【計画】売上原価	1,989	2,267	2,690	2,900	7,268	-1,718		
【実績】売上原価	943	1,215	1,191	1,173	5,537	-2,459		
【計画】売上利益	3,331	4,393	4,480	5,030	5,655	0		
【実績】売上利益	6,378	2,878	3,283	3,857	0	4,027		
【計画】売上利益率	62.6%	66.0%	62.6%	63.4%	43.8%	100.0%		
【実績】売上利益率	87.1%	70.2%	74.9%	76.7%	0.0%	157.8%		

■システム概要図



■《収益計上の平準化と期末損益の適正化》 導入メリットⅠ

工事進行基準および工事損失引当金の計上により、収益計上の平準化と、期末損益の適正化が図れ、ビジネスの健全不健全が財務諸表に十分に反映される。

■《プロジェクト管理、コスト管理の標準化》 導入メリットⅡ

開発部門における残存作業に対する見積もり習慣が定着し、プロジェクト管理、コスト管理の標準化が図れる。

システム要件		サーバ	クライアント
ハードウェア構成	CPU	推奨 Pentium 4 CPU 3.40GHz以上	推奨 Intel Celeron 1GHz以上
	メモリ	推奨 2GB 以上	推奨 256MB 以上
	HDD	推奨 80GB 以上	推奨 10GB 以上
	グラフィック	XGA(1024×768)	XGA(1024×768)
	バックアップ装置	MO、DVD等	-
ソフトウェア構成	OS	※参考	Microsoft Windows 2000/XP
	データベース	※参考	-
	アプリケーション	Apache Tomcat 5.5 Java SE Development Kit 1.5.0_11	Internet Explorer 7.0以上

※参考

	Microsoft Windows			Microsoft SQL Server 2005		
	2000/XP	Standard Edition SP2	Server 2003 R2	Express Edition	Standard Edition	Enterprise Edition
進行基準サポートのみ利用	○	○	○	○	○	○
SAP Business One連携利用	×	○	○	×	○	○

■お問い合わせ先
株式会社バイトルヒクマ
(<http://www.bai.co.jp/>)

〒161-0033
東京都新宿区下落合2-3-18
SKビル5階
TEL:03-5996-1321

担当: 営業部